

北中五〇三特警工部隊陸軍省 東京軍刺義
原隊屬連及不陸軍省ノ中三十二軍司令部ノ於テ
勤務々々レ依而特編歩兵中隊ニ編入ス

會報

四月八日

一 漆内棲息長期ニ亘ルニ從ヒ漆内汚染セラレ且ツ身
体抵抗力ノ減弱ト相復ケテ下痢患者漸次發
生ノ非アウテ一及傳染病發生セシカ之ガ爆發的
蔓延ヲマカシメガル狀況ニ立ケ至ルベキヲ以テ特ニ左
記ノ項ニ留意シ防疫ノ徹底ヲ期セラレヌ
1. 飲料水ハ中五坑道ニ注過水ヲ設備中ナルヲ以テ
（八日中ニ一部使用可轉）之ガ活用ヲ計リ自後生
水ノ飲用ハ絶対ニ禁セラレヌ
2 便所ノ消毒ハ軍医部ニ於テ藥物消毒ヲ實施ス

十九日 蛆虫ノ撲滅ハ煙草ノ散最モ有効ナルヲ以
テ左ノ如ク擔任部庶務下士及ハ吸殻ヲ蒐集シ
水ニ仰リ攪シ毒壺ニ投入セラレヌレ尚午
洗水ノ設備モ左ノ擔任ニ依リ實施セラレヌレ

中一坑道入口
參謀部特指
中三
副友部
中四
軍医部

3. 午指消毒ノ多ク軍医部ニ於テ消毒液ヲ準備シテ
凡ニ付各部（班）毎ニ消毒水ヲ設備シ之ガ實施ヲ勵
行セラレヌレ

4. 生野菜ハ消毒後ニ非サレバ喫食ヲ禁メ之ガ消毒
毒液ハ炊子ニ常備レ必ス之ガ消毒ヲ確實ニ行
フモノトス

二 各部ニ肝油球配布シテ凡ニ付前者ハ一日ニ二ノ子粒

宛卷人の服用也。又參謀部に交付也。
防睡用増強劑ハ勤務前初ハ一粒宛爾後逐
次又少子粒服用スルモノトシ、就寝前ハ服用セザルモノ
トスルモノトシ、

球日命第八十七號

球軍日々命令

四月九日

一第三十二軍司令部附

陸軍少佐

長野英夫

補第三十二軍參謀

(四月七日附)

Table with 10 vertical columns and 10 horizontal rows, mostly blank.

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

球軍會報

四月九日

一 炊事場出入口ニ關シ左記ノ通り定ム

左記

1. 晝間別命ナク發電所及其ノ附近ニ立入ヲ禁ス

銃第一小隊(二食分)

2. 食事分配ヲ左記時間内ニ於テ實施ス

| | |
|------|-----|
| 佐少原松 | (小) |
| 佐少野西 | (小) |
| 田橋館岩 | (小) |
| 中田藤加 | (小) |
| 像家町上 | (小) |
| 尾云野中 | (小) |
| (小) | (小) |
| (小) | (小) |

坑道

二三〇〇―二三三〇間

第二坑道 〇一〇〇―〇二四〇間

第三坑道、航空通信 〇四〇〇―〇四三〇間

八、電波警備隊、合同通信 〇五〇〇―〇五三〇間

二、場所 炊事場

六、夕食、食事分配左ノ如シ

球軍會報

四月九日

陸

軍

一 炊事場出入口ニ關シ左記ノ通り定ム

左記

一、晝間別命ヲ發電所及其ノ附近ニ立入ヲ禁ス

二、食事分配ヲ左記時間内ニ於テ實行ス

一、特編歩兵第一中隊及機關銃第一小隊(ニ食介)

二、二〇〇—二一三〇間

三、其他軍醫部ヲ除ク第一壕道

二、三〇〇—二二三〇間

第三壕道、航空通信 〇四〇〇—〇四三〇間

八、電波警備隊、合同通信 〇五〇〇—〇五三〇間

二、場所 炊事場

六、夕食ノ食事分配左ノ如シ

特編歩兵第一中隊機關銃第一小隊 一四〇〇一—一四〇〇四

坑一四三〇一—一五〇〇四

第二坑道 一五〇〇一—一五三〇四

第三坑道航空通信 一五三〇一—一六〇〇四

合同通信電波隊 一六〇〇一—一六三〇四

場所 管理部門前ノ壕内

三. 管理部門ノ夜間ニ食分ヲ炊事ニ食分ヲ交付

ニ一食分ヲ廢敗セザル場所ニ確保シ前記方

法ニ依リ實施スル

四. 前記要領ニ基キ各食事後受領責任者ハ將

校下士官兵ノ雇傭人ニ区分シ人負表ヲ

管理部門鈴木少尉ニ提出スル

五. 爾今軍人軍屬ヲ問ハズ標準語以外ノ使用ヲ禁ス

沖繩語ヲ以テ談話スル者ハ罰課トシテ處分ス

陸軍

六. 便所ノ使用区分ヲ嚴守スル

特ニ將官用幕僚用便所ノ使用ヲ禁ズ

七. 壕内配道要領別紙配布ス明十日ニヨリ

ヨリ移轉ヲ開始ス

